

環境経営レポート

<2023年度版>



活動期間：2023年10月01日～2024年9月30日

発行日：2024 年 12月14日

有限会社 コエル



目次	1. 組織の概要	P.1~2
	2. 環境経営方針	P.3
	3. 活動組織及び役割分担	P.4
	4. 環境経営目標と実績	P.5~8
	5. 適合法令と順守確認	P.9
	6. 代表者の見直し	P.9
	7. 活動事例紹介	P.10

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

事業所名	有限会社 コエル
代表取締役	荒木 亮蔵

(2) 所在地

本社・工場

住所 〒389-2243 長野県飯山市大字吉97番地

(3) 環境管理責任者・連絡先

責任者 荒木 亮蔵

連絡先 TEL: 0269-63-3500

FAX: 0269-62-1521

E-mail: info.koeru@gmail.com

Home page: <https://www.koeru.co.jp/>

(4) 事業内容

産業廃棄物収集運搬/処分業、有機肥料の販売

(5) 事業の規模

創業 平成3年8月8日

資本金 500万円

売上高 268,26万円 (2023年度実績)

処理実績 12,824ton (2023年度実績)

運搬実績 12,485ton (2023年度実績)

敷地面積 15,164㎡

従業員 12名

(6) 事業年度

10月1日~9月30日

処理能力 80ton/日 (中間処理、堆肥化)

収集車両 大型ダンプ 4台

アームロール車 (クレーン付) 1台

アームロール車 1台

4tダンプ 1台

(7) 認証登録の範囲

全組織・全活動

2. 許可取得一覧

■産業廃棄物処分業

都道府県	許可	許可年月日 有効年月日	許可番号	事業の範囲
長野県	中間処理 (堆肥化)	令和4年12月27日 令和9年12月26日	2027001573	汚泥（有機性のものに限る。）、動植物性残さ、家畜のふん尿（家畜のふんに限る。）

■産業廃棄物収集運搬業

都道府県	許可	許可年月日 有効年月日	許可番号	許可 台数	事業の範囲
長野県	収集運搬	令和3年3月16日 令和8年3月15日	2007001573	7	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、家畜のふん尿、家畜の死体
静岡県	収集運搬	令和3年1月21日 令和8年1月20日	02201001573	7	汚泥
山梨県	収集運搬	令和4年11月16日 令和9年11月15日	01900001573	7	汚泥、動植物性残さ
群馬県	収集運搬	令和4年12月4日 令和9年12月3日	01000001573	7	汚泥、動植物性残さ
富山県	収集運搬	令和4年12月5日 令和9年12月4日	01604001573	7	汚泥（有機性のものに限る。）、動植物性残さ
新潟県	収集運搬	令和4年12月13日 令和9年12月12日	01509001573	7	汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、燃え殻、廃油、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、動物のふん尿、動物の死体、動物系固形不要物
神奈川県	収集運搬	令和5年1月5日 令和10年1月3日	01400001573	7	汚泥、動植物性残さ
岐阜県	収集運搬	令和5年10月28日 令和10年10月27日	02100001573	8	燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、廃油、動植物性残さ、動物のふん尿
埼玉県	収集運搬	令和6年5月16日 令和11年3月30日	01100001573	6	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、動物のふん尿、動物の死体

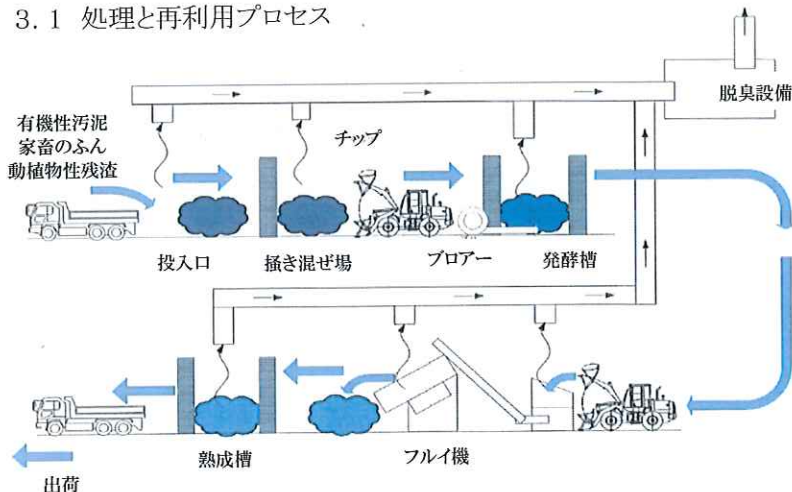
■肥料販売業 許可番号 第15-33号（D）

許可年月日 平成17年7月11日

■登録肥料 【みゆき2】

3. 処理プロセスと能力

3.1 処理と再利用プロセス



3.2 保有設備と処理能力

中間処理（堆肥化）施設	
許可番号	2027001573
処理能力	80 t / 日

環境経営方針

1. 当社は、受託廃棄物の再生利用処理のすべての工程において技術的、経済的可能な範囲で環境負荷を低減し、地球環境の保全に貢献することを目的として継続的に活動します。
2. 環境に関連する法令や規則及びその他の同意する要求事項を遵守するとともに必要により自主基準値を設けて環境保全のレベルアップを図ります。
3. 社員全員が積極的に環境保全に関心を持ち、下記の事項を重点活動テーマとして取り組みます。
 - 1) 消費エネルギーを削減し二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ・ 電力使用量の削減
 - ・ 化石燃料の削減
 - 2) 受託廃棄物の適正処理、リサイクルの推進に努めます。
 - 3) 製造肥料の品質向上に努めます。
 - 4) 化学物質の適正管理に努めます。
 - 5) 事務用品のグリーン購入に努めます。
 - 6) 地域での環境活動に積極的に参加します。

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

- 4 この環境経営方針は、全ての社員に周知徹底し、活動することを誓います。

全社員の参加により、この環境方針の実現で信州の豊かな自然環境を将来に引き継ぐことを目指します。

制定日 2020年9月16日

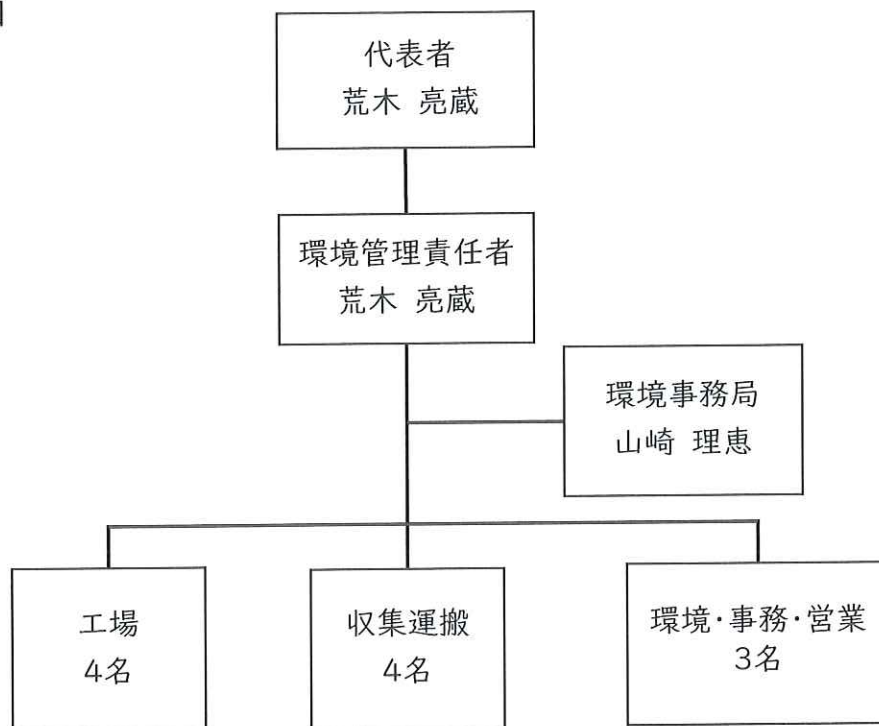
改定日 2023年10月1日



有限会社 コエル
代表取締役 荒木 亮蔵

3. 実施体制

1) 組織図



※ 部門別の活動グループを結成、責任者を任命して、改善活動を推進

2) 責任及び権限

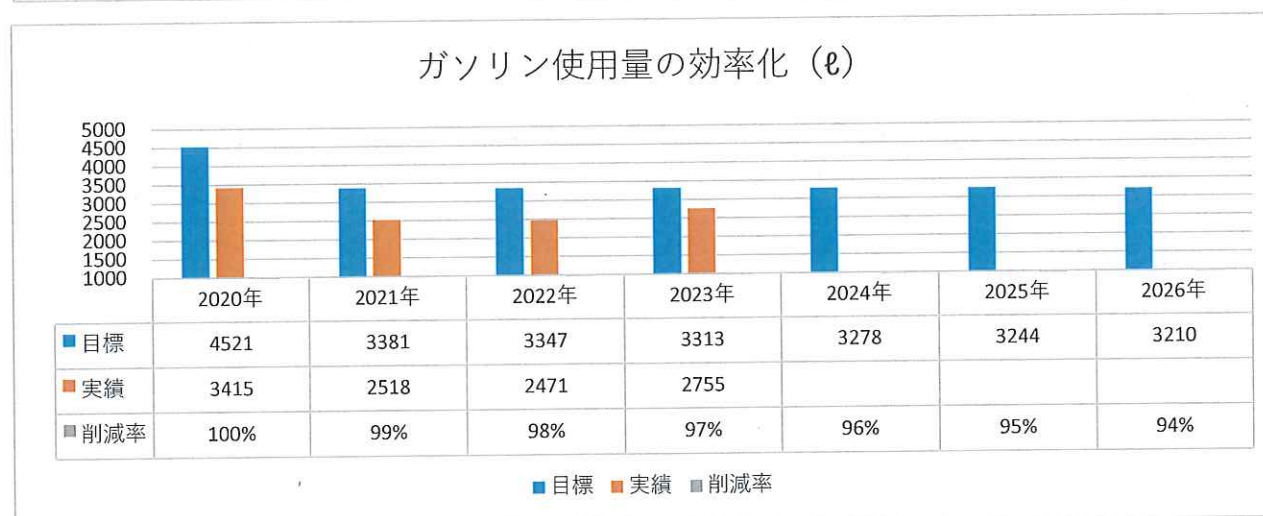
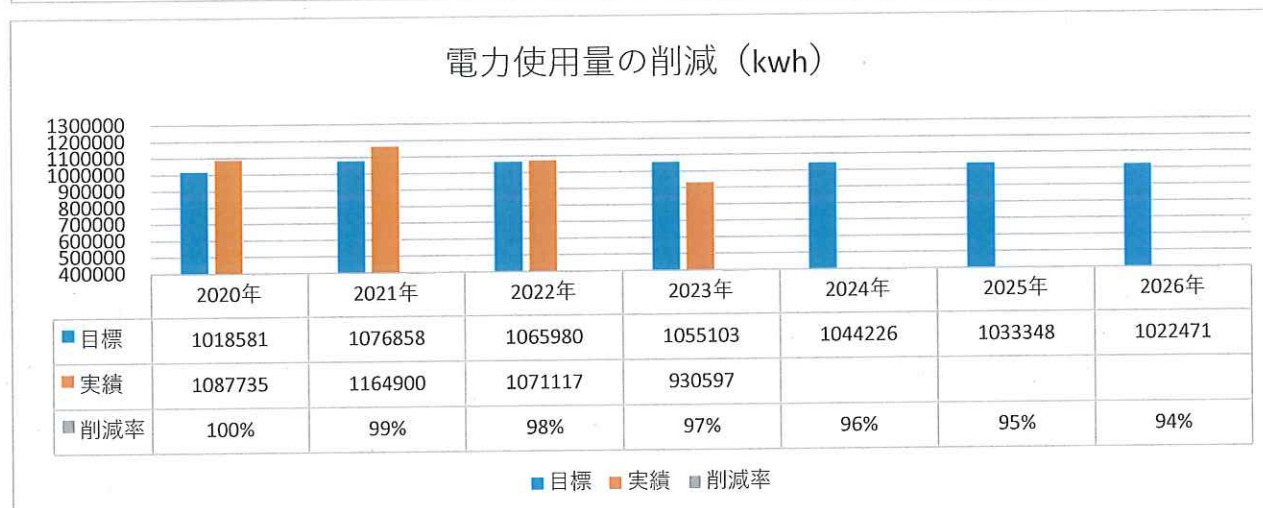
代表者	・ 環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 ・ 環境経営システムの構築・運用及び管理に必要な資源を用意する。 ・ 環境経営方針の設定・見直し及び従業員へ伝達を行なう。 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施する。
管理責任者	・ 代表者に代わりシステムの構築・運用状況を監視、結果を代表者に報告する。 ・ 定期的に情報を把握し、活動内容と問題点の確認と改善を指示する。 ・ 法規制等の取りまとめを行い、遵守状況をチェックする。 ・ 環境経営目標を設定し、環境経営計画を確認し承認する。 ・ 問題点の是正・予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行う。
事務局	・ 環境管理責任者の補佐、活動推進の事務局。 ・ 環境への負荷の自己チェック及び取り組みの自己チェックの実施。 ・ 環境経営目標・経営計画原案の作成及び実績の取りまとめ。 ・ 環境経営レポート原案の作成及び公開（社内に備付けと地域事務局への送付） ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
部門責任者	・ 自部門に関連する環境経営目標及び経営計画の実施及び達成状況の報告。 ・ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 ・ 特定された項目の手順書作成及び運用管理。 ・ 緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練の実施と記録。 ・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	・ 環境経営方針及び計画の理解と環境改善への取組 ・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境保全活動に参加 ・ 顧客要求及び環境での問題点の発見と報告、対策の実施 ・ 地域の環境保全活動への参画

4. 環境経営目標と実績の推移

環境経営目標・取組の基本方針

環境経営方針に基づき、以下の数値目標を設定して環境保全活動を推進する。

1) 中期目標と実績



※ I CO2排出量算出基準 0.421 kg-CO2/kWh

(使用化石燃料) × 排出係数 + 購入電力 × CO2排出係数

* 2020年度の実績を基準に目標値を再設定。

* 2023年度よりグラフ表示に変更。

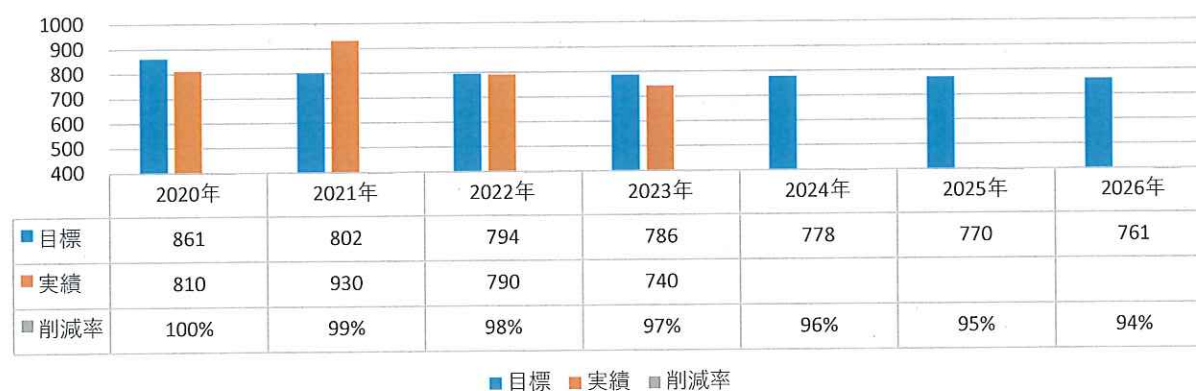
軽油使用量の効率化 (ℓ)



灯油使用量の削減 (ℓ)



一般廃棄物の削減 (kg)



産業廃棄物の削減 (kg)



水使用量の削減 (m³)



		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
業務改善 再資源化率の向上 (%)	計画	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	実績	100%	100%	100%	100%			

4. 環境経営目標と実績の推移

◎よくできた ○まあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

	活動計画	評価	取組みの結果及び、次年度の取り組み
二酸化炭素排出量の削減	1. 環境経営レポート	○	猛暑の影響で、夏場のエアコン使用時間が増えてしまった。 待機電気機器のスイッチはこまめに消すよう習慣が出来てきた
	・昼休みの節電(消灯)	◎	
	・エアコンの温度設定冷房28度、暖房20度	○	
	・待機電気機器のスイッチ節電	○	
	2. LPG使用量の削減	◎	LPGは年間通して使用量0でした。 冬場でもなるべくお湯を使わず水で手を洗うよう心がけた。今後も引き続き推進していきたい。
	・夏季の手洗いは水使用	◎	
	・使用量、使用料金の把握と掲示	◎	
	3. ガソリン使用量の削減(基準年比2%削減)	◎	営業活動も、自動車だけではなく、電車やバスを使用するなどガソリンの使用量を減らすために心がけました。今後も引き続き継続していきたい。
	・社有車の日常点検	◎	
	・エコドライブ10の実施(急の付く運転禁止)	◎	
	・適性時期のタイヤ交換(夏/冬、摩耗)	○	
	4. 軽油使用量の削減	×	収集ルートの見直し、効率の良い運搬等を考え配車を組むよう心がけた。 今後も引き続き継続していきたい。
	・社有車の日常点検	◎	
	・エコドライブ10の実施(急の付く運転禁止)	◎	
	・適性時期のタイヤ交換(夏/冬、摩耗)	◎	
用水	5. 水使用量削減(基準年比1%削減)	◎	洗車の時間を決め、節水するよう呼びかけた。
	・節水ラベル貼付	◎	
	・洗車頻度の見直し	◎	
社会貢献	6. 環境保全活動の推進	○	引き続き道路のごみ拾い、工場周辺の美化活動を継続していきたいと思います。
	・環境美化ボランティア活動	○	
業務改善	7. 5S活動の推進	○	事務所や休憩室の電気コンセントの埃を掃除するなど、安全面も意識した定期的な清掃を行いました。今後もさらに徹底していきたいと思います。
	・身の回り/職場の整理・整頓(3カ月毎)	◎	
	・周辺道路の管理(清掃/除雪、等)	◎	

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

当社の業務で適用される義務規定（一部それ以外を含む）の主な環境関連法規等とその内容を把握して、遵守状況の確認を行った。

注）チェック欄…○：遵守 ×：不遵守 √：該当なし確認 （―：判断なし）

法規制等の名称	適用される事項 (施設、物質、事業活動)	証拠書類、等	判定
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、廃プラ、廃油等）の適正処理	契約書・許可書	○
		(電子) マニフェスト	○
水質汚濁防止法	水処理施設の管理	設備管理表	○
浄化槽法	浄化槽の点検、清掃	点検表	○
下水道法	水質管理	点検表	○
消防法（危険物）	灯油の防油堤	届出書/点検記録	○
消防法	薬品タンク設備	届出書	○
毒物及び劇物取締法	使用化学物質のSDS入手と掲示	SDS掲示	○
肥料取締法	肥料の製造及び販売	許可証期限	○
計量法	トラックスケールの定期検査（2年毎）	検査証	○

(2) 違反及び訴訟の有無

上記環境関連法については、遵守チェックリストにより、確実に法規を遵守していることを管理責任者が11月29日に確認しました。

また、過去3年間、関係各機関から特に指摘・指導は無く、訴訟もありませんでした。

6. 代表者の見直し

取り組みの概要と評価

今期は数字をグラフ化したこともあり、活動を始めてからの推移や目標達成度もわかりやすくなったと思います。

今後の取り組みと指示

積み上げてきた実績をもとに、来年度も各自改善に向けて積極的な取り組みを期待しています。

7. 活動事例紹介

●長野県SDGs推進企業登録



●健康経営優良法人認定



●社員の子育て応援宣言

